

2018-19 週報 パワー浜松ロータリークラブ

「能動的に参加し、お互いを高めあおう」

RI 会長 バリー・ラッ / 第 2620 地区がバナー 星野義忠 / 会長 鷺津有一 / 幹事 鈴木一広
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークアクトシティ浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



第737回例会10月16日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：稲野清治 龍谷義行 ■点鐘：鷺津有一 ■週報：松島弘明
- ロータリーソング：「希望のエネルギー」
- ゲスト：浜松信用金庫 営業店統括部 地域貢献課 課長 米澤浩祐様
天竜浜名湖鉄道(株) 地域連携センター長 伊藤文俊様
米山記念奨学生 肖 英華さん

出席報告/スマイル報告

会員数 77 名 (内出席免除会員 2 名)
出席数 60 名 出席率 80.0%
前々回出席率 84.21%

- ① 高木一広会員
- ② 原田道子会員

会長挨拶

おはようございます。

本日は、米澤浩祐様、伊藤文俊様、第5グループ全体事業として参画する「天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト」の概要説明のために早朝よりお越し頂き、ありがとうございます。



天浜線に関わる事業に参加するのに、天浜線に乗りしたことがないのでは洒落にならないと思い、先日乗ってきました。掛川駅で「1日フリーきっぷ」を購入すると、もれなく「どうまいグルメガイド」という冊子を頂きました。途中、遠江一宮駅で下車し、予てから行ってみたいと思っていた「百々や」で手打ちそばを頂きました。評判に違わずとても美味しかったです。その後、転車台を一目見ようと天竜二俣駅で下車しました。が、転車台を見るためには見学ツアーに参加しなければならず、ツアー1時間前にも関わらずチケット完売で、転車台を見る事ができませんでした。あとは新所原まで天浜線を楽しみました。天浜線には多くの国の登録有形文化財があり、11の駅で駅舎・待合所・プラットホームなどが登録され、通過する橋梁のうち5つが登録されています。文化財巡りで楽しむこともできます。が、難点はいったん下車すると次の電車まで1時間ほど待たねばならないことで、車窓で楽しむのが無難かなと思いました。皆さんもぜひ機会を見つけ、天浜線の旅を楽しんでください。



ハッピーバースデー

- 9月15日生まれ 加藤ひとみ会員
- 9月20日生まれ 知久 武会員
- 10月16日生まれ 高橋邦明会員
- 10月13日生まれ 滝浪 實会員
- 10月18日生まれ 五十嵐晴巳会員
- 10月20日生まれ 松井 進会員
- 10月21日生まれ 北ノジョセ マチー会員
- 10月23日生まれ 近藤雅彦会員
- 10月26日生まれ 森 俊彦会員
- 10月30日生まれ 林 竹計会員

委員会報告

- ①地区米山記念奨学委員会 小澤邦比呂会員
10月14日に米山梅吉記念館において奨学生力ウンセラーが行われました。
- ②親睦部会 鈴木直幸会員
10月23日に創立記念例会の案内。
- ③ゴルフ同好会 松本由紀彦会員
10月8日に静岡第5グループ親睦コンペが行われました。次回12月16日の青空例会の案内。

幹事報告

- ①第5グループの全体事業として花のリレープロジェクトに各クラブから5名程度の参加を予定しています。11月23日に行われますので、参加希望の方は社会奉仕部会までお伝え下さい。
- ②認知症サポーター養成講座が12月8日になゆた浜北で行われます。
- ③10月から12月までの会費を10月25日に引き落としをさせていただきます。

議 事

米澤浩祐様 伊藤文俊様 卓話「花のリレープロジェクト」について

担当 国際奉仕部会

第5グループ全体事業として今年度参加協力が決まっています。花のリレープロジェクトについて、主催者の「はましん地域振興財団」米澤浩祐氏と伊藤文俊氏お招きし、プロジェクトについて卓話を頂きました。※詳細は次ページへ

議 事

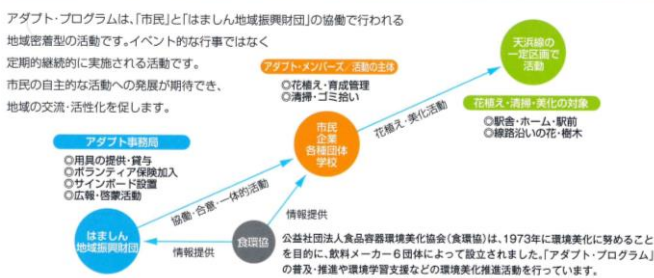
国際奉仕部会「花のリレープロジェクト」について静岡第5グループ全体事業として今年度参加が決まっている『花のリレープロジェクト』の内容を主催者の「はましん地域振興財団」米澤浩祐氏と伊藤文俊氏から卓話を頂きました。



『花のリレープロジェクト』は「天浜線 人と時代をつなぐ」を合い言葉に以下の理念のもと、浜松信用金庫・はままつフラワーパーク・天竜浜名湖鉄道の3つの企業母体が心をひとつにして、地域活性化を目指して取り組むプロジェクトです。



アダプト・プログラムは、今の時代に求められている市民活動です。



人口減少が避けられない時代が訪れようとしています。今、私たちにできることは、その波を少しでも遅らせ、地域に新しい活力を生み出し、強い誇りを持って郷土を愛していくことではないでしょうか。花は心を豊かにします。みんなを笑顔にします。花に満ち溢れた地域社会は、きっと幸せが多く降り注ぐまちになります。さ、新しい地域づくりを、はじめませんか。地域に暮らすみなさんと一緒に取り組みたいのです。だからまず、一緒に花を植えて育てましょう。明日、笑顔が咲くように。

塚本 こなみ 先生 + 吉谷 桂子 先生
(はままつフラワーパーク理事長) (英国園芸研究家)
(日本初の女性樹木医) (ガーデン&プロダクトデザイナー)



花のプロデュースは、塚本こなみ先生（はままつフラワーパーク理事長、日本初の女性樹木医）、と吉谷桂子先生（英国園芸研究家、ガーデン&プロダクトデザイナー）が2017年10月～2018年3月まで、天竜浜名湖鉄道沿線を数回にわたって視察していただき、土壌・周辺環境の確認、駅舎やホームなどとのマッチング、花・樹木の選定からデザインまで、5年先、10年先の情景を思い描いた「花のリレー」の完成図をイメージしていただきました。夢のダブル・プロデュースで生まれる鮮やかな光景は、必ずや多くの人を魅了することでしょう。

『花のリレープロジェクト』には、続きがあります。地域活性化の先にあるのは、新たな地域振興です。「花のリレー・プロジェクト」によって地域が活性化し、郷土に新たな誇りが芽生えたなら、それを経済活動に結びつけることが重要ではないでしょうか。天竜浜名湖鉄道は、地域における大切な鉄道ブランドであり、観光資源です。この観光資源を起点として、これまでにない新しい地域観光振興を推進していくことで、地域の未来はさらに明るいものになります。そして、観光による交流人口の増加から、興味・関心を高めた方の移住による定住人口の増加へ。わたしたちのプロジェクトには、まだ大きな約束の道が続いています。

卓話後
 職場訪問例会のグループミーティングを行いました。

職業奉仕部会担当



スマイル報告

- ①高木一浩会員
10月8日の青空例会優勝について感謝のスマイル
- ②原田道子会員
10月24日開催「静岡県ニュービジネスフォーラムI N浜松」の案内。